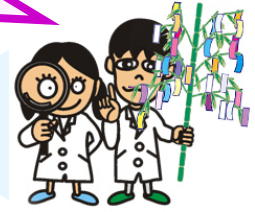









感染症に気をつけよう!

2021年【7月号】

横浜市内の感染症 流行状況



感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】  クリック
新型コロナウイルス感染症*	 流行	 横ばい	5月中旬以降、報告数は、ほぼ横ばいの状況が続いています。【'21.6号】
腸管出血性大腸菌感染症**	 発生	 増加	報告数が増えています。施設での集団発生も確認されました。【'19.9号】【ちらし】
RSウイルス感染症**	 流行	 急増	流行が始まる時期が例年より早く、報告数も急増しています。【'16.10号】【臨時情報】

国立感染症研究所*

横浜市感染症情報センター

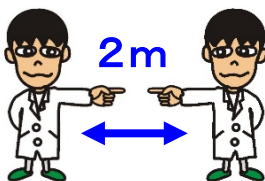
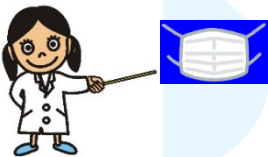
今、気をつけたい感染症 新型コロナウイルス感染症

● **変異株** であっても、個人の**基本的な感染予防策が有効** です。** 



▶ 3つの密(密集、密接、密閉)の回避、マスクの着用、手洗いを徹底してください。

● **マスクは、すき間なく正しく** 着用しましょう。



▶ ただし、マスクを着けていない時と比べると、心拍数や呼吸数、血中の二酸化炭素濃度、体感温度(人が感じる暑さ)が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。



▶ そのため、夏に**気温・湿度が高い環境でマスクを着けると、熱中症のリスクが高まります。**



▶ 屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が保てる場合には、マスクをはずすようにしましょう。**



厚生労働省**
【新型コロナウイルスに関するQ&A】



横浜市保健所
【新型コロナウイルス感染症対策】